

府中校 たまねじトピックス



電波の日・情報通信月間記念式典で多摩職業能力開発センター府中校が表彰を受けました

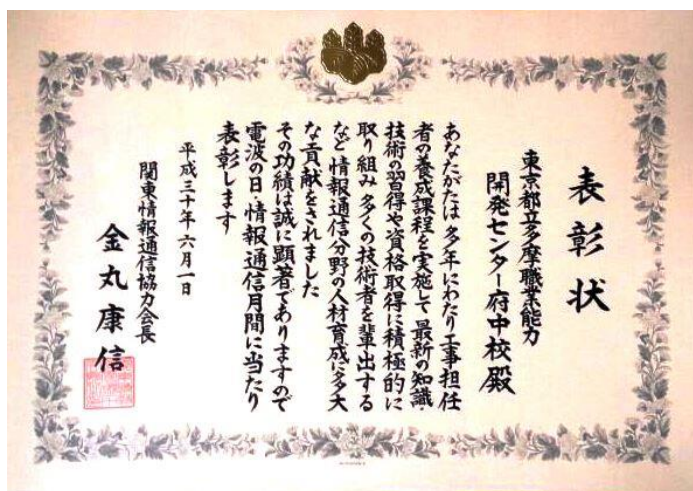
平成30年度「電波の日・情報通信月間」記念式典（総務省関東総合通信局と関東情報通信協力会の共催）において、多年にわたり工事担任者の養成課程を実施し、情報通信分野の人材育成に多大な貢献をしたとの功績により、多摩職業能力開発センター府中校が関東情報通信協力会長表彰を受賞しました。

【記念式典 次第】

- 1 開 式
- 2 式 辞 総務副大臣 坂井 学
- 3 会長挨拶 関東情報通信協力会長（株式会社テレビ山梨 代表取締役社長） 金丸 康信
- 4 来賓挨拶 経済同友会 副代表幹事 程 近智
- 5 表 彰 電波利用及び情報通信の発展に貢献した個人及び団体《関東地域の6個人、7団体》

「電波の日・情報通信月間」関東情報通信協力会長表彰
 東京都立多摩職業能力開発センター府中校
 功績の概要: 多年にわたり工事担任者の養成課程を実施して、最新の知識・技術の習得や資格取得に積極的に取り組み、多くの技術者を輩出するなど、情報通信分野の人材育成に多大な貢献をした。

- 6 閉 式



養成課程の経緯

養成課程資格	年度	校名	科名
デジタル第一種	昭和63年度～平成5年度	荏原高等職業技術専門校	情報通信設備科
	平成6年度～平成15年度	府中技術専門校	情報通信設備科
アナログ第三種	平成6年度～平成11年度	府中技術専門校	ホームエレクトロニクス科
デジタル第三種	平成12年度～平成17年度	府中技術専門校	電気・通信工事科
AI三種	平成18年度	府中技術専門校	電気・通信工事科
	平成19年度～現在	多摩職業能力開発センター府中校	電気・通信工事科

○「電波の日」(6月1日)

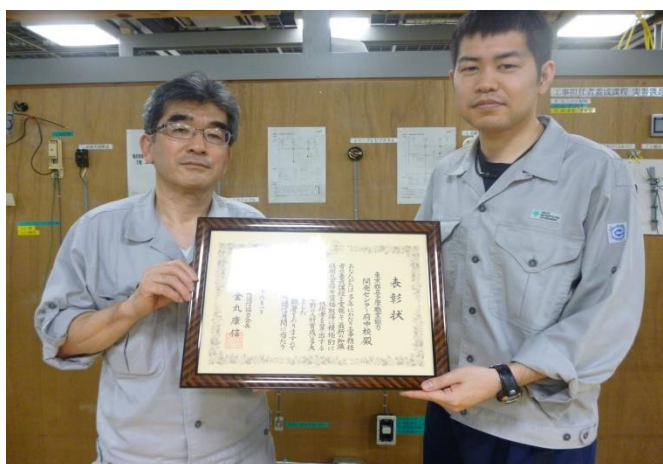
「電波の日」は、昭和25年に電波法、放送法等が施行され、それまで政府専掌であった電波の利用が広く国民に開放されたことを記念して制定されたもので、国民各層の電波の利用に関する知識の普及・向上を図るとともに、電波利用の発展に資することを目的に、記念式典を実施しています。

○「情報通信月間」

「情報通信月間」は、昭和60年の情報通信の制度改革を機に、情報通信の普及・振興を図ることを目的として設けられ、5月15日から6月15日までの月間期間中には豊かな生活を実現する情報通信について広く国民の理解と協力を求めるため、全国各地で記念式典、講演会、セミナー等の関連行事を開催しています。



金丸会長(左)と府中校長(右)の記念撮影



電気・通信工事科指導員：府中校の実習室にて

電気・通信工事科指導員から一言

国家資格である「工事担任者 AI 第三種」の合格率は毎年50%前後ですが、府中校の「電気・通信工事科」では、90%前後の合格率を保っております。昭和63年度から今日まで養成課程を継続できているのは、この高い合格率を維持できているからこそだと思っています。

このことは、生徒の皆さんの頑張りはもちろん、指導スタッフが一丸となって指導に取り組んでいる成果です。就職先の一部である通信工事会社からも、資格取得による知識、技能に大きな期待を持たれていますので、引き続き、養成施設として、業界への就職を目指す方々の育成に取り組んでまいります。今後とも、科の運営にあたりまして、関係者の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

多摩職業能力開発センター所長コメント

昭和63年度から、長年にわたり、時代に合致した見直し等を行いながら、養成課程として人材育成を行ってきたことに大変な歴史を感じます。現指導員はもちろん、過去に担当された指導員の皆様、素晴らしい実績を積み上げていただき尽力に感謝申し上げます。

今回の表彰を更なる励みに、引き続き、養成施設の運営に精力的に取り組んでいきましょう。



指導員からの受賞報告：多摩職業能力開発センターにて(6/15)